

旭川市立広陵中学校 学力向上に向けた改善プラン

学校の教育目標

夢と潤いのある学校

- | | |
|-----------------|------|
| 1 深く広く考える生徒 | 【知性】 |
| 2 やさしく思いやりのある生徒 | 【徳性】 |
| 3 ねばり強くやりぬく生徒 | 【意志】 |
| 4 明るくすこやかな生徒 | 【体力】 |

教育目標の具現化に向けた重点目標

学習指導と生徒指導の両面で、「課題意識」をもとに、主体的、創造的な活動を通して、自己評価能力を高める生徒の育成

- 学習指導では、「見通しをもたせて、わかる・できる授業を工夫し、やりぬく力と自己評価能力を高めることのできる生徒」を育てる。
- 生徒指導では、「自制心と思いやりの心をもたせて、生徒同士のコミュニケーションの場を工夫し、認め合い、高め合うことのできる生徒」を育てる。

現状と課題

▽平成31年度の全国学力・学習状況調査から

- 国語
 - ・「話すこと・聞くこと」については、話合いの話題や方向を捉えることは概ねできている。
 - ・「書くこと」については、書いた文書を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討することは概ねできている。
 - ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、語の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解することは概ねできている。
 - ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、封筒の書き方を理解して書くことに課題がある。
 - ・「話すこと・聞くこと」については、話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつことに課題がある。
- 数学
 - ・「図形」については、平行移動の意味を理解していることは概ねできている。
 - ・「関数」については、反比例の表から、 x と y の関係を式で表すことに課題がある。
 - ・「関数」については、グラフの上の点Pの y 座標と点Qの y 座標の差を、事象に即して解釈することに課題がある。
 - ・「関数」については、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。
 - ・「資料の活用」については、資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。
- 英語「聞くこと、読むこと、書くこと」
 - ・「聞くこと」については、話と話の連結による音変化を捉えて、情報を正確に聞き取ることが概ねできている。
 - ・「読むこと」については、聞いて把握した内容について、適切に応じることに課題がある。
 - ・「読むこと」については、書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などを捉えることに課題がある。
 - ・「書くこと」については、与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書くことに課題がある。
 - ・「書くこと」については、与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことに課題がある。
- 英語「話すこと」
 - ・「話すこと」については、月日に関する基本的な表現を理解して、応答することに課題がある。
 - ・「話すこと」については、基本的な文法（現在進行形）を理解して、応答することに課題がある。
 - ・「話すこと」については、適切に強勢を置き、交通手段に関する基本的な表現を理解して、応答することに課題がある。
 - ・「話すこと」については、聞いて把握した内容について、やり取りすることに課題がある。
 - ・「話すこと」については、与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことに課題がある。
- 生徒質問紙 ※数値は全国の割合を100として算出
 - ・「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」(134.8)「図書館に週1回以上行く」(155.4)「地域や社会をよくために何をすべきかを考えることができる」(160.9)「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」(139.0)などの項目では、肯定的な回答が多い。
 - ・「普段の家庭学習量」(71.6)「計画を立てて勉強」(75.8)「授業で、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した」(71.3)などの項目では、割合が低い。
 - ・「国語の勉強が好き」(131.3)「数学の授業の内容はよく分かる」(118.1)「英語の授業はよく分かる」(144.7)「英語の授業で聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていた」(154.7)の項目では、肯定的な回答が多い。

▽令和元年度の学校評価(生徒アンケート～全年)から

- 教師の授業の進め方(わかりやすさ、板書の見やすさ、進める速さ等)については、昨年度(満足、ほぼ満足89.5%)に比べ、向上している。(今年度92.2%)
- 「授業の予習、復習をしている」については、「あまりしていない」、「まったくしていない」生徒の割合が依然として高い。(昨年度43%、今年度45%)
- 「家庭学習の目安時間を達成している(1年：100分以上 2年：120分以上 3年：150分以上)」については、「あまりしていない」、「まったくしていない」生徒の割合が高い。(今年度56%)
- 「メディアとの平均接触時間が2時間以内である」については、「あまりあてはまらない」、「あてはまらない」生徒の割合が高い。(今年度51%)

短・中長期的な取組の視点

＜短期的な視点～令和2年度全国学力・学習状況調査に向けて～＞

- 第2学年の学力向上の取組を継続強化
 - ・家庭学習の充実
 - ・テスト前を重点とした学習習慣づくり
 - ・教科相談を用いた指導体制の充実
 - ・全国学力・学習状況調査やチャレンジテストでの経年傾向で、正答率の低い領域の補充

＜中長期的な視点＞

- 学力向上の中核組織となる「学力向上推進委員会」を中心とした学力向上に向けた更なる取組の充実、検証
- 学力向上に向けた重点項目の設定～「課題」「見通し」「まとめ」「振り返り」の授業展開から「家庭学習」への接続、育成すべき資質・能力の焦点化、明確化、共有化
- 教育課程の見直しと改善に向けて、問題解決的な学習とまとめの学習の位置付けの徹底

具体的な改善方策

1 「わかる・できる・見通せる」授業で意欲的・主体的に学ぶ生徒を育てる

- | | |
|---|---|
| ○ 基礎・基本の確実な習得を目指した「確かな学力」の育成 | ○ 学ぶ意欲とできる喜びを得られる指導方法や指導体制の工夫 |
| ○ 育成すべき資質・能力の焦点化し、教科横断的視点に立った授業展開 | ○ T・Tや少人数指導を有効に活用した指導の工夫・改善 |
| ○ チャレンジテスト、eライブラリアドバンスの効果的な活用 | ○ 「課題」「見通し」「まとめ」「振り返り」から「家庭学習」に接続させる授業展開の徹底 |
| ○ 「家庭学習の手引き」「小中連携家庭学習のめやす」を活用し、家庭と連携した学習習慣づくり | ○ 言語活動の充実 |
| ○ 長期休業中や放課後を活用した補充的な学習の継続 | ○ 一日の始まりを意識した朝読書の徹底 |

2 思いやりの心を持ち、互いに認め合い、高め合う生徒を育てる

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| ○ いじめ防止やアウトメディアの取組の充実 | ○ 道徳の時間の3・5時間確保と内容の充実 |
| ○ 命の大切さや思いやりを育てる道徳授業 | ○ あいさつや日常の清掃活動、生徒会活動の充実 |



カウンセリングマインドに基づいた生徒とのかかわりを通して

- | | |
|---------------------------------|---|
| ○ 「いじめアンケート」や教育相談の計画的な実施による実態把握 | ○ 校内研修における課題別研修の充実(授業改善の具体、「特別の教科 道徳」の評価、いじめ、不登校対策) |
| ○ 授業や休み時間における日常的な心のふれあいの重視 | |

次年度の目標

1 全国学力・学習状況調査に対する達成目標

- 国語、数学において、課題のある領域を克服させる。また、自分の考えを書いたり、話したりして説明(表現)できるようにする。
- 質問紙調査の「普段(月曜日から金曜日)の勉強時間」に対する選択肢1、2の項目(2時間以上)を50%以上にする。(今年度は21.8%)

2 学校評価の生徒アンケートに対する到達目標

- 「授業の予習、復習をしている」という質問の4の項目(あてはまる)を25%以上にする。(今年度は17%)
- 「先生方の授業はわかりやすい」という質問の4の項目(あてはまる)を55%以上にする。(今年度は49%)